

令和元年度事業評価

課別評価シート

【福祉部 障害福祉課】

目次

- | | |
|-------------------|------|
| 1 各事業の進捗管理 | P. 1 |
| 2 【障害者福祉】分野の事業の評価 | P. 3 |

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
障福01-02	障害者地域自立支援協議会の運営
障福01-03	障害者基幹相談支援センターの運営
障福01-04	障害者虐待の防止
障福01-05	地域生活支援拠点等の整備
障福03-01	障害者就労支援事業の充実
障福04-01	障害者事業を通じた地域交流
障福07-01	障害者差別解消の推進

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《 検討の視点 》

課題の洗い出し

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 | ○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方 |
| ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 | (例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 |
| ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移) | ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など |

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの |
| 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの | 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの |
| 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの | 終了済 → 昨年度までに終了した事業 |

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号		事業名		中間アウトカム				
障福01-02		障害者地域自立支援協議会の運営		障害者福祉(A)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	障害者地域自立支援協議会の運営	回		19	19		38	57
事業費(千円)				1,029	1,081		進捗の課題	無
行政コスト(千円)				4,687				
所要人員				0.618	0.831			
進捗の課題と改善策								

※2019.5月 H29実績修正

事業番号		事業名		中間アウトカム				
障福01-03		障害者基幹相談支援センターの運営		障害者福祉(A)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	総合相談件数	件		5,280	5,763		11,043	20,130
	相談支援体制強化のためのネットワーク会議の開催	回		27	27		54	81
事業費(千円)				79,668	91,825		進捗の課題	無
行政コスト(千円)				85,769				
所要人員				0.809	0.796			
進捗の課題と改善策								

事業番号		事業名		中間アウトカム				
障福01-04		障害者虐待の防止		障害者福祉(B)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	障害者施設等従事者向け研修会及び区民向け講演会	回		2	2		4	6
	障害者虐待防止センター(通報窓口)の運営	か所		2	2			
事業費(千円)				172	10		進捗の課題	無
行政コスト(千円)				2,776				
所要人員				0.407	0.319			
進捗の課題と改善策								

事業番号		事業名		中間アウトカム		
障福01-05		地域生活支援拠点等の整備		障害者福祉(A)		
				H29	H30	H31
主な取組		地域生活支援拠点の5機能のうち、相談機能の整備を進めていく方針を決めました。		総合相談支援や社会資源との連携を担う地域連携調整員を、区内4地区の拠点に配置する方針を決めました。		
事業費(千円)						
行政コスト(千円)						
所要人員						
進捗の課題	無		進捗の課題と改善策			

事業番号		事業名		中間アウトカム		
障福03-01		障害者就労支援事業の充実		障害者福祉(A)		
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	職業準備訓練(企業等実習・庁内インターンシップ)	回	51	67		118
	ハートフル工房	回	26	25		51
事業費(千円)			53,839	55,475		
行政コスト(千円)			58,660			
所要人員			0.547	0.743		
進捗の課題と改善策		進捗の課題 無				

事業番号		事業名		中間アウトカム		
障福04-01		障害者事業を通じた地域交流		障害者福祉(C)		
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	ふれあいの集い	回	1	1		2
	心身障害者・児通所施設合同運動会	回	1	1		2
事業費(千円)			2,879	3,295		
行政コスト(千円)			6,815			
所要人員			0.558	0.606		
進捗の課題と改善策		進捗の課題 無				

事業番号		事業名		中間アウトカム		
障福07-01		障害者差別解消の推進		障害者福祉(B)		
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	障害者差別解消支援地域協議会	回	1	2		3
	手話通訳が可能な職員の配置	人	1	1		2
事業費(千円)			8,393	5,796		
行政コスト(千円)			19,763			
所要人員			2.135	2.085		
進捗の課題と改善策		進捗の課題 無				

2 【障害者福祉】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【福祉部 障害福祉課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	2-2 障害者福祉
将来像	だれもお互いに人格と個性を尊重し、支え合うまち

中間アウトカム (A)

障害者が、自立した生活を送っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
障福01-02	障害者地域自立支援協議会の運営	障害福祉課	障害者の実情を的確に捉えた事業構築が図られている	現状維持	現状維持
障福01-03	障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉課	障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている	現状維持	現状維持
障福01-05	地域生活支援拠点等の整備	障害福祉課	障害者の包括的な居住支援体制が構築されている	拡充	拡充
前回の評価結果の内容	区内全体の相談件数が増加しており、今後さらに増加することを見据えた相談支援体制を構築する必要があります。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	身近な地域での相談支援体制を充実するため、区内4地区に地域連携調整員を配置した拠点を整備する方針を決定しました。				
課題及び今後の方向性の内容	平成31年度より4年計画で拠点を整備していくこととありますが、具体的な整備の方向性については文京区障害者地域自立支援協議会地域生活支援専門部会の中で協議していきます。				
障福03-01	障害者就労支援事業の充実	障害福祉課	地域での自立した職業生活・社会生活が定着している	現状維持	現状維持
障福01-01	日中活動系サービス施設の整備	福祉政策課	障害者の就労支援や創作活動の場が確保されている		
障福01-06	難病患者等への支援	予防対策課(保健サービスセンター)	難病患者やその家族の経済的負担が軽減するとともに、生活の質が向上している		
障福01-07	精神障害回復途上者デイケア事業	保健サービスセンター	精神障害者の社会復帰が図られている		
障福02-01	グループホームの整備	福祉政策課(予防対策課)	住み慣れた地域で自立した生活を送るための施設整備が進んでいる		
障福02-02	福祉作業所の大規模改修	福祉政策課(障害福祉課)	安心して施設を利用することができる		
障福02-03	精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の強化	予防対策課	精神障害者が地域で安心かつ安定した生活を送っている		

中間アウトカム(B)

障害者が、地域の中で安心して暮らしている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
障福01-03	障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉課	障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている	現状維持	現状維持
障福01-04	障害者虐待の防止	障害福祉課	障害者に対する虐待が防止されている	現状維持	現状維持
障福07-01	障害者差別解消の推進	障害福祉課	障害者に対する差別がない、共生社会が実現している	現状維持	現状維持
高福05-01	権利擁護センターの充実	福祉政策課	成年後見制度などが普及している		
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている		
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている		

中間アウトカム(C)

障害者が地域で交流を深めている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
障福04-01	障害者事業を通じた地域交流	障害福祉課	心身障害者・児が、さまざまな地域活動に参画している	現状維持	現状維持
高福02-01	ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている		
ス01-03	文京スポーツボランティア事業	スポーツ振興課	障害者のスポーツ実施率が向上している		

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分